

レーザー処理用粉塵飛散抑制材

SP-W1 Advance

Ver.1



厚生労働省通知に準拠した
レーザー処理時の
湿潤化対策!!

クリーンレーザー処理は、ガン先の吸引装置により粉塵の飛散を抑制していますが、塗膜除去工においてレーザー処理作業と併用して「SP-W1 Advance ver.1」を塗布して既存塗膜を湿潤化することにより、塗膜粉塵等の飛散を更に抑制し安全な作業環境となります。

FEATURES

4つの特徴

01 塗膜粉塵の飛散抑制

既存塗膜を湿潤化する事により微細な粉塵等が湿潤面に付着するため、粉塵の発生を効率よく抑制することができます。

03 除去性

「SP-W1 Advance ver.1」はレーザー照射により塗膜と共に気化して除去されます。

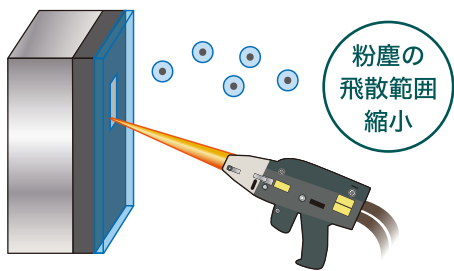
02 湿潤効果の持続性

「SP-W1 Advance ver.1」を塗布後約8時間(20°C)は湿潤状態を確保することができます。

04 作業の安全性

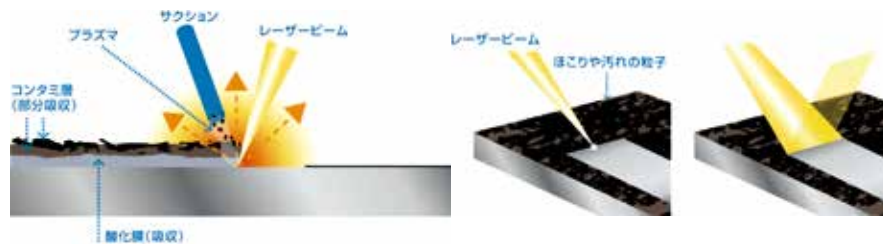
引火性のない水性塗材(非危険物)であるため、作業員や作業環境に対する危険や有害性が非常に低く安全性に優れています。

レーザー処理時の湿潤化対策



レーザー処理前に「SP-W1 Advance ver.1」を塗布

クリーンレーザー工法の原理



集光されたレーザースポットエネルギーを金属素材表面の有機性対象に照射すると、エネルギー密度の高いレーザー光を吸収した汚れ・コーティング等の対象は気化(昇華)されます。また気化(昇華)した汚れは同時にバキュームにて吸引され、フィルターを介して処理されます。

施工手順

工程	材料	塗布量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装用具
1 養生	■ 対象外の箇所などの範囲を養生してください。			
2 湿潤材塗り	SP-W1 Advance ver.1	0.15~0.25	1~3	・中毛ウールローラー ・刷毛
3 レーザー処理	■ 「SP-W1 Advance ver.1」は、レーザー処理により気化され除去されます。 ■ レーザー処理はクリーンレーザー工法「施工要領書」に準じて施工を行ってください。			

作業における注意事項

- 悪天候時には施工しないでください。
- 「SP-W1 Advance ver.1」を塗布した面は滑りやすいため注意してください。
- 「SP-W1 Advance ver.1」が残存したまま塗装を行うと、塗料の付着不良や防錆性不良の原因となります。
- レーザー処理は、一般社団法人クリーンレーザー工法協会が定めるW資格認定制度の講義・実技指導を受講し、資格試験に合格した者を施工に従事させてください。
- レーザーによる人的被害を防ぐために現場作業では光漏防止養生を行うものとする。必要に応じ、遮光布・アルミ蒸着シートで養生を行い、作業員以外が不用意に養生内に立ち入ることが無いように監視人を配置してください。
- レーザーオペレーター・補助作業員及び作業エリア内に立ち入るものはレーザー光を直視することの無いようにレーザーゴーグル(保護メガネ)を必ず着用してください。

取扱上の注意事項

- 取扱中は、皮膚に触れないようにし、必ず保護具を着用してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 取扱後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 容器から取り出す時に、溢れないようにしてください。もし溢れた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布した後処理してください。
- 容器は密栓し、40°C以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。(雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など)
- 製品の容器には、取扱上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。
- 製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。

お問い合わせ

N Neuer Fluss 株式会社

TEL 03-4335-7940

〒171-0042 東京都豊島区高松3丁目11番5号

✉ info@neuerfluss.jp

🌐 https://neuerfluss.jp

取扱店